

# 見方をかえれば

## ねらい

子どもに対する見方やとらえ方について、活動をとおしてふりかえり、子どもの気持ちに寄り添うことや子どもの人権を尊重した関わり方の大切さについて考えます。

◇時間◇	40分	◇人数◇	1グループ3～4人
◇準備物◇	ワークシート、資料①②、参考資料		

## 展開

- 1 資料①「子どもの心の短歌」を読んで、大人のどのような関わり方が子どもの心を傷つけてしまうのかについて考え、発表する。  
(例)・子どもだからという理由で、軽く見られた。
  - ・自分の短所を責められた。
  - ・親の一方的な考えを押しつけられた。
- 2 資料②を見ながら、リフレーミングについてファシリテーターから説明を聞く。
- 3 それぞれの立場から子どもとの関わりをふりかえり、気になるところや困っているところをワークシートに書く。ワークシートを基に子どもの見方についてグループで話し合う。

### 【やり方】

- ① ワークシートの1について、性格や行動面などで「気になるところ、困っているところ」などの欄に個々に記入する。
- ② グループのメンバーが、それぞれの項目に1つずつリフレーミングした言葉を書く。
- ③ ワークシートを基にグループで話し合う。
- ④ 数名の人に発表してもらい、全体で共有する。

- 4 ワークシートの2に日常生活の中で、子どもと接する上で気を付けたいことを書き、ふりかえりとする。  
(例)・子どもの短所ばかりを見ないで、長所を中心に見るようにしたいと思う。
  - ・怒ってばかりいた気がする。子どもの心を傷つけていたかもしれないので、これからは、子どもの気持ちを考えて接していきたいと思う。

## ファシリテーターの言葉かけ例

**展開1** (資料①を配布する) まず始めに「子どもの心の短歌」を読んでもください。(読み終わったら) これらの短歌には、子どもたちの素直な気持ちが込められています。子どもたちは、どうしてこのような短歌を作ったと思いますか。今から少し時間をとりますので、各自で考えてください。(数名に発表してもらい全体で共有する)

大人の子どもに対する見方や言動によっては、子どもの心を大きく傷つけることがあります。今日は、『子どもに対する見方』をテーマに取り上げたいと思います。そして、みなさんと共に話し合うことをとおして、子どもの人権について考えていきたいと思っています。

**展開2** (資料②を配布する) みなさんは「リフレーミング」という言葉を知っているでしょうか。「リフレーミング」とは、1つのことを別の角度から見直したり、考え直したりすることをいいます。例えば、子どもの短所を取り上げて「あわてんぼうな」ということがあります。この短所をリフレーミングして肯定的な言葉に置き換えてみると、「行動的な」と表すことができます。同様に、「いいかげんな」という短所を、「こだわらない」という肯定的な見方に変えることもできます。

人は自分だけの価値観で物事の善し悪しを判断しがちですが、リフレーミングを活用することにより多様な視点でとらえることができるようになります。

**展開3** それでは、リフレーミングを活用しながら、『子どもに対する見方』について考えていきたいと思っています。(ワークシートを配布する) ワークシートにみなさんの身近にいる子どもの性格や行動面などで、「気になるところ、困っているところ」を書いてみてください。

次に右回りにワークシートを回し、先ほど書いた項目に対してそれぞれ1つずつ、グループの方から「リフレーミングした見方」で書いてもらいます。書く方は、内容が前の人と同じでも構いませんが、できるだけ言い回しを変えてください。

それでは、始めてください。(回し終わったら) ワークシートに書いてもらったことで、気付いたことや感じたことについてグループで話し合ってください。(数名に発表してもらい全体で共有する)

様々な気付きや感想をもつことができたようですね。

**展開4** 今日の活動や話し合いをとおして、自分がこれから子どもと接する上でどのようなことに気を付けたいと思いましたか。ワークシートの2に書いてみてください。(書き終わったら) 書いたことについてグループで話し合ってください。(時間がきたら) それでは、話し合ったことについて発表してください。(数名に発表してもらい全体で共有する)

みなさんの発表を聞き、今日の講座では多くの気付きや学びがあったことがわかりました。子どもを一面的にとらえずに見方を変えてみると、子どもの良いところに気付くことは、大人の意識の変化につながり、それによって子どもたちが変わったり、家庭が変わったりすることがあると言われています。みなさんのこれからの生活に、この講座での気付きや学びを生かすことができるといいですね。

# 見方を変えれば

1 子どもの性格や行動面などで、「気になるところ」「困っているところ」ということを3つ挙げ、次の表に書いてみましょう。

	気になるところ、 困っているところ など	見方を変えて表現してみよう！		
		1人目	2人目	3人目
例	・落ち着きがない	・元気がある	・好奇心が旺盛	・活弁
①				
②				
③				

2 日常生活の中で、子どもと接する上で気を付けたいことを書いてみましょう。



## 子どもの心の短歌

「あなたのため」と  
親に言われて  
塾へ行く  
くたくただけど  
がまんだ私

いつもそう  
父の言葉が  
つきささる  
「子どものくせに」は  
千クリと痛い

「そのままの  
あなたが好き」と  
母が言う  
ふとんの中で  
笑顔の私

また今日も  
「何をやっても  
遅いんだから」  
母の言葉に  
唇をかむ

「リフレーミング」とは  
一つのことを別の角度から見直したり、考え直  
したりすることをいいます。

おかあさん。  
テストが100点  
じゃなかった。



それはくやしいよね。でも、  
70点分は理解しているって  
ことでしょ。あと30点分頑  
張ればいいじゃない。



子どもの短所と思っていた部分をリフレーミングしてみると…  
(例)

	【肯定的に見方を変えると】
あわてんぼう	→ 行動的な・行動が機敏な
いいかげんな	→ こだわらない・おおらかな
おこりっぽい	→ 感受性豊かな・情熱的な
さわがしい	→ 明るい・活発な・元気がいい
だらしない	→ こだわらない・おおらかな
のんびりした	→ 細かいことにこだわらない・マイペースな
目立ちたがる	→ 自己表現が活発な

人は自分の価値観で物事を判断しがちですが、リフレーミングを活用することにより多様な視点でとらえることができるようになります。